

入札監視委員会定例会議 議事概要

- 1 開催日 令和6年5月29日（水）
- 2 場 所 都市再生機構九州支社 第1会議室
- 3 委 員
[委員長]
徳増幸雄（一般財団法人会長）
[委員]（五十音順）
神野達夫（大学教授）、佐川康貴（大学准教授）、森部節夫（弁護士）
- 4 審議対象期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日
- 5 抽出件数

	入札方式別	抽出件数
1	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（工事）	1件
2	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、落札率の高い契約（工事）	1件
3	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一者応札・応募の契約（工事）	1件
4	指名競争入札方式（工事）	1件
—	随意契約方式（工事）	該当なし
5	一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（業務等）	1件
6	落札率が高い契約（業務等）	1件
7	一者応札・応募の契約（業務等）	1件
抽出件数（計）		7件

- 6 委員からの意見・質問それに対する回答
別紙のとおり。
- 7 委員会による意見の具申又は勧告の内容
なし。

以 上

	意 見 等	回 答
1	【R 5－金山団地D工区外壁修繕その他調査工事】 ・調査業務が全体の契約金額に対して占める割合はどの程度か。 ・調査結果は本件工事の補修方法等に反映されるのか。	・概ね1 %である。 ・すぐに活かせる成果があれば反映するが、調査業務の主たる目的は、その成果を将来の賃貸住宅の維持保全に活用することにあるため、本件工事というよりも、今後の他団地の補修に活かしていくこととなる。
2	【R 5－アーベインルネス香椎屋外環境整備工事】 ・特になし	
3	【R 5－沖台二丁目ほか5団地給水施設改良（直結増圧化）その他工事】 ・今後も順次、直結増圧化方式への切り替えを進めていく予定なのか。 ・一者応札・応募となった要因は何か。 ・1回目の入札が不落の場合、再公募をするのか、それとも再度入札を行うのか。	・可能な団地についてはそのとおりである。 ・断水に伴う居住者対応が発生することや、さまざまな配管や配線が埋設されている状況下での掘削作業の難易度が高いこと等の要因により、業者から敬遠されたと考えられる。 ・入札は原則2回まで行うことができるため、1回目の入札が不落となった場合は、再度入札に移行する。
4	【URコミュニティ】R 5－金山団地量水器修繕工事】 ・応札者間の入札金額の乖離が大きい、どのような理由か。	・事業者の手持ち工事や、製品の仕入状況等の要因により差が生じたものと考えている。
5	【令和6～10年度九州支社総主任業務（建築・設備）】 ・個別工事毎の監督員は本件業務の受注者が行うのか。	・個別工事に対する監督業務は、公募により外部の業者に委託している。

	・ワークライフバランスに関する取り組みは実施しているのか。 ・人員の体制はどのようなものであるか。 ・保有資格要件は定めているのか。 6 【令和6・7・8年度九大箱崎南地区に係る権利者等調整等支援業務】 ・業務内容の資料作成において、行政書士法等に抵触することはないか。 7 【令和5年度 古賀駅周辺地域におけるまちづくり実現方策等検討業務】 ・本件業務は古賀市からの受託ではないとのことだが、実施する目的は何か。 ・年度途中での発注となった理由は何か。 ・古賀市のまちづくりに携わるきっかけは何だったのか。	・4週8閉所の実施等が挙げられる。 ・建築と設備それぞれの職種で2人ずつ、計4人体制である。 ・職種ごとに専門の資格要件を定めている。 ・作成するのは関係者との協議や、説明会に向けた資料が中心であり、公的書類等ではないことから、関係法規に抵触することはないと考える。 ・まちづくり支援の一環として取り組んでいる。 ・古賀市と仕様の内容等について議論を重ねていたためである。 ・平成29年に基本協定を締結しており、以降互いに連携しながら検討を進めているところである。 以 上
--	---	---